

MEMBERSHIP

会員

UDC OMTは、正会員・賛助会員の2つの会員で構成されています。

正会員



賛助会員



中村 崇二

UDC OMTは、公・民・学が連携し、大牟田のまちなか再生と都市の魅力向上を目指して活動する団体です。市民や学生、若者が参画できる機会を創出し、持続的なまちづくりを進めています。活動にご賛同・ご協力いただける方は、ぜひお問い合わせください。



一般社団法人 アーバンデザインセンターおおむた
事務局
住所 〒836-0843 福岡県大牟田市不知火町1丁目4-2 大牟田商工会館3F
Mail info@udcomt.jp

ロゴマーク (OMUTA EYES) について

大牟田の歴史を象徴する石炭の「黒」をベースに、「アーバンデザインセンターおおむた」の頭文字「U・D・C・O」を記号化、市民同士が膝を寄せ合い、まちづくりを議論し合う様子をデザインしています。また右側の円は大蛇山の「目」。まちの明るい未来を見つめます。ロゴマークを繰り返すと、まるで大蛇のウロコのように、まちや人に脈々と息づく文化を、新たな視点でまちづくりに活かしていく思いを表現しています。

<https://udcomt.jp>

活動はFacebook/Instagram/noteでも配信しています。

UDCおおむた



URBAN DESIGN CENTER OMT.

OUR APPROACH

まちづくりの進め方



ご挨拶

20年後の大牟田を、 市民と企業の皆様とともに描き、実行する。

大牟田市では、将来の大牟田の魅力創出、活力の維持向上を目的として2023年3月に「大牟田まちなか再生未来ビジョン(未来ビジョン)」が策定されました。私たち「一般社団法人アーバンデザインセンターおおむた(UDC OMT.)」は、2024年11月に設立され、未来ビジョンの実現にむけた計画を推進する、公・民・学連携による新しいまちづくり団体です。大牟田のまちなかの20年後の姿を市民の皆様とともに描き、実行していく組織として、どうぞご期待ください。

大牟田の魅力は「人」です。これは、周辺各地から人が集まり、近代産業で発展した街だからこそ築かれた財産であると感じています。私たちは、大牟田のまちなかは、人々が集まり出会い、交流し、新しい価値を発見・創造する場であり続けてほしいと考えています。そのためには、交通の要所でもある大牟田のまちなかが「わ」の中心として、人を集め、交流を促す役割を果たすことが必要でしょう。人やモノ、トキとの出会いによって、感情が動く。暮らしが彩られ、新しい自分にも出会えるかもしれない。誰もが「今日も一日が楽しかった」と思える、魅力あふれるまちなかを目指したいと考えています。

私たちは現在、取り組みを構想期・チャレンジ期・実現期の3つのステージに分け、現在は「ステージI(構想期)」から「ステージII(チャレンジ期)」へ移行を目指して鋭意活動しています。南北に連なる街の「背骨」から周辺へとネットワークを拡大する「フィッシュボーン戦略」を掲げ、歴史のなかで築き上げてきた「これまで」の大牟田と、未来に向けた「これから」の大牟田をつなぎ、大きな一歩を踏み出します。

副理事長／センター長
正木 哲



UDC OMT.のミッションは「大牟田まちなか再生未来ビジョン」の実現であり、その役割は同ビジョンで掲げられた6つのリーディングプロジェクトを推進することです。

大牟田 まちなか再生 未来ビジョン

OMUTA
MACHINAKA SAISEI
MIRAI VISION



1. 大牟田駅周辺エリアの機能再編と顔づくり
2. 空き家・空地を活用したまちづくり
3. 新栄町駅を中心とした健康・福祉と賑わいのまちづくり
4. 災害に強いレジリエントなまちづくり
5. 人の力が光るイノベティブな場づくり
6. 多様なプレイヤーが関わるプラットフォームづくり

大牟田まちなか再生未来ビジョン(以下、未来ビジョン)とは、将来的な大牟田の魅力創出及び活力の維持向上のため、概ね20年後を目標として、公・民・学で共有するエリアの将来像とその実現のための取組指針を定めたものです。

上記のリーディングプロジェクトを推進するにあたり、設立初年度を含む2ヶ年度を立上げ期として定め、担い手支援や投資環境の改善が見込まれる投資環境の改善など立上げ期に重要な事柄に絞り込み、

次の5つのカテゴリに再編いたしました。



PROJECT

重点プロジェクト

PROJECT #1

大牟田駅周辺エリア事業



2031年度の供用開始を予定している市庁舎整備の効果を周辺に波及させ、その周辺エリア(大牟田駅～国道沿い)の価値を高めるために、エリア全体に協調的な広がりをもたらす実現可能な事業に着手するとともに、整備後の波及を織り込んだ戦略的なエリア像をステークホルダーと共に作成します。

- 大牟田市庁舎周辺エリアの将来的なエリア戦略の作成
- 大牟田まちづくりデザインコンペでのアイデアを、社会実験として学生を巻き込みながら実装
- 学習スペースや若者の活動支援拠点の設計と試験的運用
- 大牟田駅東口エリアの可能性を拡げるためのイベントを年次開催し、文化として定着
- まちなかイベントに対する支援



PROJECT #2

空き家・空き地利活用事業



中心市街地や商店街に多く存在する空き家や空き地を利活用し、空き家改修や入居支援策の設計を進め、ウォークアブルなまちのきっかけとなる拠点づくりの取組みを進めます。また、関係機関と連携し、担い手の発掘、支援やマッチングをサポートする等の取組にも関わっていきます。

- リノベーションによる空き家等の利活用
- 関係者が集うUDC OMT.の拠点整備に向けた物件探索、利用計画作成及び資金確保
- 空地の活用策の検討



PROJECT #3

新栄町周辺エリア事業

新栄町駅における法定再開発事業の検討が進む中、エリアの価値をより高めるために、より広い範囲でのエリア戦略の作成及び取組を推進します。

- 新栄町駅前再開発事業の効果を周辺に波及させるエリア戦略の作成
- 災害に強いまちづくりに向けた取組みの検討
- 不動産取得予定者、現所有者、事業者間でのマッチングを図るための取組実施



PROJECT #4

イノベティブな場づくり

大牟田まちづくりデザインコンペにおける学生のアイデアを基点とした事業推進を通じて、短期的なまちの活性化のみならず、成功体験をした若者が大牟田に愛着を強め、更なるチャレンジを行うように支援します。



- 大牟田まちづくりデザインコンペの深堀、可能性調査を踏まえた実装支援
- 若者、学生の継続的な参加推進の体制構築
- 創業支援のための支援枠組み作りの調査研究

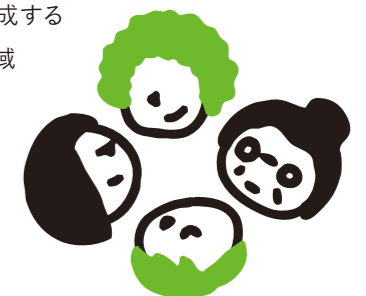
PROJECT #5

プラットフォームづくり

公・民・学が参加する定期的なワークショップやフォーラムを開催し、課題やビジョンの共有、地域内外の成功事例の学習、新たなプロジェクトの創出を進め、取組を推進する上で不可欠となる多様なプレーヤーの発掘、育成のプラットフォーム機能を設けます。また、積極的に広報を行い、市民の誇り(シビックプライド)を醸成するとともに、UDC OMT.の取組を地域内外の多くの人に知ってもらうための取組を推進します。



- 大牟田まちづくりサポーターズ制度の設置・運用
- ワークショップ・フォーラムの開催
- まちづくりを推進する人材の育成事業
- UDC OMT.出前授業
- 都市再生推進法人の取得に向けたアクション
- ホームページ・SNS等を活用した広報活動



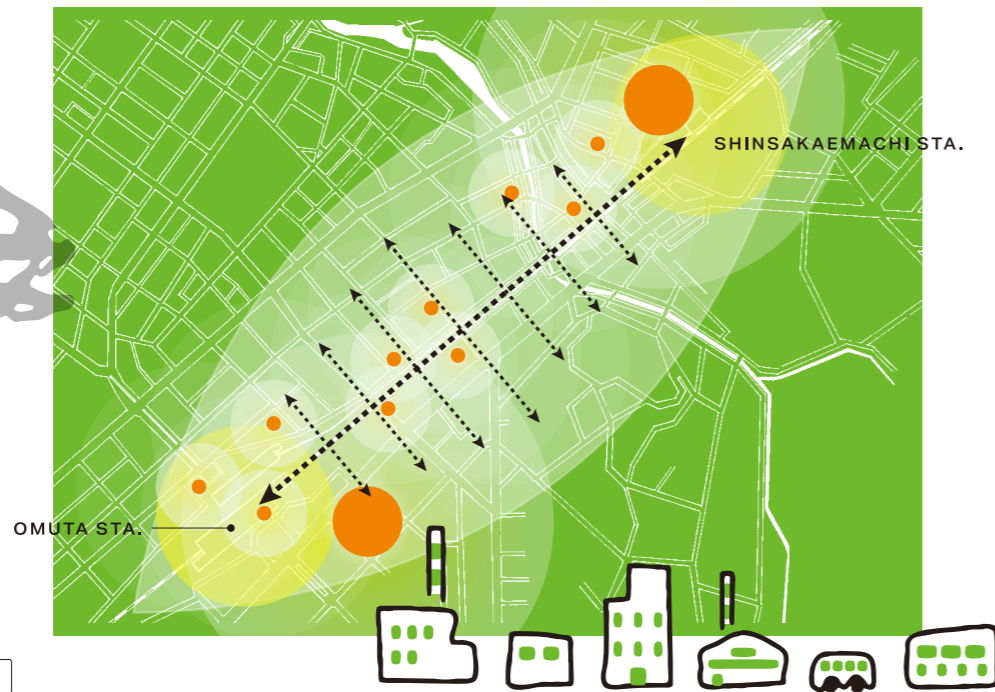
DESIGN PLAN

戦略とロードマップ

フィッシュボーン戦略

未来ビジョンの実現に向けてアクションを起こすにあたり、新栄町駅周辺と大牟田駅周辺、両駅を結ぶ西鉄・JR九州沿線の道を軸として位置づけ、重点的に事業を進めるエリアとしました。また、軸から伸びた支線にはこれからのまちなかの賑わい創出に向けた重要な拠点があり、今後仕掛けに取り組みにあたって有力なポイントが点在しているため、ネットワーク化を図ります。

大牟田駅エリアと新栄町エリアをそれぞれ魚の頭と尻尾、その両者をつなぐ沿線を背骨に見立てて「フィッシュボーン戦略」と名付け、新栄町駅周辺と大牟田駅周辺を強く結びつけることで、徐々に周辺へとネットワークを拡大し、まちなかの活性化につなげていきます。



Fish bone Strategy

ロードマップ

UDC OMT.は3つの段階に分け、未来ビジョンの実現を目指していきます。

2025-2026年 ステージⅠ（構想期）

- 各種調査、データベース作成
- 各エリア別方針策定
- 検討体制（協議会等）組成
- 空き家・空地利活用促進
- プラットフォーム組成

2027-2028年 ステージⅡ（チャレンジ期）

- 各事業で社会実験の実施
- 現庁舎利活用策検討
- 空き家・空地利活用事業化
- プラットフォームモデル化

2029-2031年以降 ステージⅢ（実現期）

- 大牟田駅周辺再編
- 新栄町周辺エリア再編
- 空き家・空地利活用モデル構築
- プラットフォーム運用

※ロードマップに記載した時期はあくまで目安であり、状況によって変更となる場合があります。

UDC OMT. を代表して

私たちUDC OMT.は、公・民・学の構成団体、理事・会員の皆さまと共に、「大牟田まちなか再生未来ビジョン」を実現します。フィッシュボーン戦略のもとリーディングプロジェクトを推進し、一人ひとりの力を結集して魅力あるまちを共に創り上げましょう。



代表理事
糸永 一平

構成団体

- 公 大牟田市
- 民 大牟田商工会議所、大牟田柳川信用金庫
- 学 有明工業高等専門学校、帝京大学福岡医療技術学部

この他に一般社団法人の会員（正会員、賛助会員）として民間等が参画。

理事会

- 代表理事 / 糸永 一平（大牟田商工会議所 副会頭）
- 副理事長 / 正木 哲（有明工業高等専門学校 准教授）
- 副理事長 / 奥蘭 征裕（大牟田商工会議所 専務理事）
- 副理事長 / 副枝 修（大牟田市 副市長）
- 理 事 / 三原 太（帝京大学福岡医療技術学部 学部長）
- 監 事 / 松原 誠（大牟田柳川信用金庫 理事長）

特別顧問

板床 定男（大牟田商工会議所 会頭）

顧問

出口 敦（東京大学 執行役・副学長）

事務局

- センター長 正木 哲
- 副センター長 菅原 知之
- 統括ディレクター 後藤 太一
- スタッフ 西田 圭範 / 山科 敏彦 / 柿原 真 / 土谷 佳奈



理事会と事務局メンバー